

2012年度 事業名 地区分区による復興支援活動

No.	実施日	活動地区分区	事業名	実施内容	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
1	7月21日(土)	北塩原村分区	避難先の郷土料理の炊き出し	会津地区内の仮設住宅へ入居されている方々へ会津の郷土料理を振る舞い、交流を図りました。	会津若松市 河東学園仮設住宅	仮設住宅入居者等 (大熊町民)	約100人	分区職員 奉仕団他 合計 2人 27人 29人	・実施当日は夏休みの初日のため、子供のいる家族が出かけている場合が多く、若い参加者が少ない状況でした。開催日時の設定に、今後注意していきたいと思います。(分区職員より) ・仮設住宅での開催についての周知不足を感じました。今後は周知方法を検討していきたいと思います。(分区担当者) ・仮設住宅でのニーズ等の情報を支部・奉仕団・地区・分区で共有できれば良いのではないかと思います。情報の共有ができれば奉仕団も活動しやすくなると思います。(分区担当者)
2	8月10日(金)	昭和村分区	昭和のお花を届けるプロジェクトⅡ in おおくま	昭和村赤十字奉仕団により、会津若松市に避難している大熊町の仮設住宅の入居者にお盆の供花として利用して欲しいと、特産のカスミノウをラッピングし、約900セットを配りました。花束に激励のメッセージを添えて、会津若松市内13カ所の仮設住宅で入居者に手渡しました。	会津若松市 市内各仮設住宅	借上げ住宅、 仮設住宅入居者 (大熊町民)	約500人	昭和村分区職員 昭和村役場職員 昭和村赤十字奉仕団 大熊町 ボランティア他 合計 2人 数名 11人 20人 約40人	・地元(昭和村)に避難している方がいないため、活動するには離れた会津若松市等に行かなければなりません。ニーズの把握が難しく、活動して良いのか悩みながらの活動でした。何かニーズを把握できるようであれば、活動しやすいと思います。(分区担当者) ・支部からの活動に対する助成があるのは大変ありがたいです。来年もお願いしたいと思います。(分区担当者)
3	8月5日から 月2回程度 定期的に開催 (8月は3回開催)	桑折町分区	仮設住宅における生活不活発病予防事業(健康マージャン)	健康マージャン地域指導員のボランティアが、仮設住宅入居者の生活不活発病の予防及びストレス解消の一助として「健康マージャンの集い」を開催するため必要な機材を整備しました。	桑折町 桑折駅前仮設住宅	仮設住宅入居者 (桑折町民) (浪江町民)	毎回6~7名 (主に男性)	分区職員 健康マージャン地域 指導員 合計 数名 16人 約20人	・分区からの意見は、現在活動中であるため特にありませんでした。 ・3つの活動を通して、奉仕団と地区・分区とが協力した復興支援事業は行いやすいですが、地区・分区単独での事業は実施が難しいです。地区・分区では、震災や平時の業務が多く、復興支援事業を行う状況にはありません。よって、今年度の予算もほとんど使えない状況にあります。
4	6月27日(水) 9月26日(水) 11月28日(水)	会津地区	借上げ住宅避難者の「親子交流会」の開催	借り上げ住宅等に避難している親子が他の避難している親子と交流することにより避難生活での孤立を防ぐことを目的として、親子遊びや育児・生活に関する情報提供、情報交換を行いました。	会津若松市 河東保健センター	会津の借上げ 住宅入居者	65人	分区職員 看護協会、会津若松 保育協会保育士等 合計 3人 39人 42人	
5	2月3日(日)	西郷村分区	西郷村在住相双地方避難住民交流会	西郷村に避難生活を余儀なくされている住民同士が、市町村の枠を超えて交流し、親睦を深めました。	西郷村 ホテルサルート白河	相双地方から 西郷村にて避難 生活を送る住民	92人	分区職員 西郷村奉仕団員 県南保健福祉 事務所職員他 合計 3人 10人 4人 17人	